

パノラマファーム大門

「この風景を守り伝えていきたい」。眼下に広がる伊那谷と、雄大な南アルプスの山々を前に、代田勝さん(パノラマファーム大門場長)は力強く言います。

同会は一昨年3月、「農地を荒らすことなく、次代に残していきたい」との思いから結成されました。呼びかけに地域から45名の有志が集い、遊休農地の再生と活性化に取り組んでいます。名前の「大門」は、座光寺最上段の地籍「大門原」に由来します。

会が運営するのは、東南に向いた日当たりのよい70アールの農地。そばとりんご(シナノスイート)を作り、地元の子どもたちの体験の場、都市住民との交流の場、市が進める体験教育旅行の受け入れ等に活かしています。今年10月には東京渋谷区のみなさんと、りんご狩り・そば打ち体験会を行いました。

「このりんごは日本一」と自信をもって語る代田さん。南アルプスと伊那谷を一望する景観も、訪れた人が一様に感動するところ。「この素晴らしい風景と農業を、まずは地元の子どもたちに残し、リンアが通るころには、都会の人に訪れてもらえるようにしていきたい」。将来を見据えた取り組みはこれからも続きます。



10月に実施した渋谷区民との交流会

お知らせ

「昔の写真」を募集しています。

座光寺の昔を伝える懐かしい写真を探しています。風景、建物、暮らしの姿、祭り、ハレの日の一枚…。みなさんの家にある「昔の写真」を、ぜひご提供ください。詳しくは座光寺自治振興センターまでお問い合わせください。



※写真はデータ化するので、原版は数日後にご返却できます。また、お借りした写真は「座光寺便」などに活用させていただきます。



「ふるさとパック」は旬の座光寺農産物の詰め合わせ。ふるさとを離れて暮らす方に、自然の香りや懐かしい味をお届けしています。

ふるさとパック
冬の味覚満載便
2,000円(送料別)



- お申し込み先 座光寺自治振興センター内 麻績の里ふるさと応援倶楽部 (TEL.0265-22-1401・FAX.0265-22-1475) E-mail:zakouji@city.iida.nagano.jp
- お申し込み締切 平成25年12月20日
- お届け時期 平成25年12月下旬

※代金は商品到着後にお支払いください。



座光寺 19地区探訪① 宮の前



信州飯田

麻績の里

座光寺便

2013.12
No.13
宮の前号



役場庁舎改築落成一昭和8年 明治31年新築された学校裁縫所を移転改築した。

座光寺便では今回から、座光寺の十九の地区をシリーズでご紹介します。

第一回は宮の前。麻績神社から南東にくだらかに広がる一帯で、古くより開けた地区でした。明治時代には「市場」と呼ばれており、元善光寺への参詣者を相手にした商いの場だったと想像できます。いまも古道などに歴史の名残が感じられます。



座光寺エリア
宮の前
戸数:48戸

人 探訪

みぶ ますお
壬生益雄さん
宮の前8組



昭和3年、豊丘村壬生沢に生まれた壬生益雄さん。28年に「壬益建築」を創設し、建築大工として多くの建築物を手がけてきました。中でも元善光寺の客殿や麻績神社本殿の彫刻などは、高い職人技が結実した代表作のひとつです。

とはいえ、宮大工の仕事はまったくの独学。「一度はやってみたかった仕事。興味があったから、努力も苦にならなかった」と、当時を懐かしく振り返ります。

指導者としての実績も外せません。いい仕事には、いい仲間が必須。人材の育成は、良い建築物を造ることに通じます。「よくみんなついてきてくれた」というとおり、人を育てる点で壬生さんは厳しい指導が信条でした。しかし「一人としてやめていった人はいない」といいます。「厳しくても、心からのものだった。だからみんなついてきてくれたのだと思う」。

「いいものを造ろう」。同じ目標に向かって共に苦労した、20人に及ぶ仲間や後継者。これが壬生さんの生涯を通じた財産となっています。



元善光寺客殿新築工事起工式にて、「手新始(ちょうなはじめ)の儀」を行う壬生益雄さん

④ 郷倉跡
江戸時代、ここに年貢米を保管する郷倉と呼ばれる土蔵がありました。非常時の食糧の貯蔵等に使われていました。



⑤ 元善光寺への古道
元善光寺の山門前を通り、現在の公民館に至る古道です。

⑥ 旧市場通り
かつてこの帯は、商家が並ぶ門前町でした。大舟屋、吉丸屋などの座光寺万十のお店や、写真店、雑貨・たばこ店などが軒を連ねていました。

⑦ 麻績の里遊歩道
元善光寺から麻績神社を結ぶ遊歩道。平成18年3月、麻績の里振興委員会が中心となり整備されました。



⑧ 並木古墳
小さな土盛りが古墳の名残を留めています。

⑨ 麻績の里交流センター
麻績小学校校舎の復元修理時、正面玄関がここに移植されました。

⑩ かつての通学路
市田(高森町)から元善光寺を経て上郷に至る古道。麻績学校の通学路でもありました。



⑪ 大石垣
長さ130メートル、高さ5メートル以上の大石垣。明治31年、校舎拡張時に造られました。

⑫ 石塚1号古墳
公民館西側に現存する、6世紀後半に造られた古墳です。座光寺で最大級の石室をもっています。

⑬ 七草団地
かつて七草が採れたところから呼ばれるようになりました。



座光寺 19地区探訪①

歩けば！が見えてくる宮の前



① 石の大鳥居
明治22年に建立された、飯田下伊那地方最大の石造鳥居です。石材は上郷野底山と高森町大島山から運ばれ、延べ2千人以上がその運搬に携わりました。鳥居正面に掲げられた「麻績神社」の額は、明治政府の内大臣・三條実美さんじょうさねとみの書です。



② 役場への古道
欠野・中羽場・下羽場から村役場へと続いていたかつての道です。

③ 座光寺村役場跡
旧座光寺村役場は昭和8年、学校の裁縫所を移転改築したものでした。昭和59年に現在の公民館ができるまで、村役場・市役所支所として使われてきました。

